

えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」(毎年 11 月 1 日)、「えひめ教育月間」(毎年 11 月)を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、第 15 回螢雪記念講演会、人権・教育講演会を実施しました。

事業名	第 15 回螢雪記念講演会
日時	令和元年 11 月 13 日(水) 14:35～16:25
場所	本校体育館
参加者	本校生徒、教職員、同窓会会員、保護者(約 1000 名)
本校卒業生である愛媛大学医学科医学専攻長・医学科長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授の羽藤直人(はとう なおと)先生を講師に迎え、「これまでとこれから」の演題で第 15 回螢雪記念講演会を実施しました。先生自身の専門である「聴覚」という視点から勉強の効率化へのアプローチについて、そしてグローバル化、少子高齢化に伴いこれからの AI 化社会に適応するための 5 つの力(判断力・決断力・行動力・国際力・多能力)の必要性について講演してくださいました。また、本校の先輩として、後輩である在校生への温かいアドバイスもしていただきました。今回の講演を通じて、「螢雪精神」を強く育むことができました。	



事業名	人権・同和教育講演会
日時	令和元年 11 月 15 日(金) 14:10～15:25
場所	本校体育館
参加者	本校生徒、教職員、保護者(約 950 名)

本年度は、国際理解コーディネーター、松山市子ども健全育成事業「土曜塾」塾長、愛媛大学法文学部講師として活躍されている中矢 匡(なかや ただし)先生をお招きして、「地球の上に生きる」の演題で講演会を実施しました。世界 100 か国以上訪問されている講師の先生の実体験に基づいて、人と人のつながりを大切に、人の気持ちを尊重し、思いやりの精神を持って接することの大切さ、そして「命」の大切さを感じられる生き方・在り方について、御講演をいただきました。心に響く感動的なお話に、生徒及び教職員一同胸を熱くしました。この成果を今後の取組に生かし、ますます充実した人権・同和教育の推進に努めていきたいと考えています。

